

# 2020 年度 大学院生プロジェクト型研究 成果報告会

本大学院生プロジェクト型研究は、大学院生が主体的に研究を企画・実施・報告する力を養い、研究能力を高める機会の提供を目的として実施しているものです。

上記の趣旨から、2020 年度大学院生プロジェクトの成果報告会を下記の要領で行います。参加自由ですので、学生・教員の皆様は下記 QR コードから事前申請の上、奮ってご参加ください。

**日 時** : 2021 年 3 月 4 日(木) 13:00~17:30

**会 場** : オンラインで実施します

**申し込み** : 右記 URL/QR コードからお申し込み下さい

<http://bit.do/InseiProject>



研究課題 :

1. 小林 大介 (臨床心理研究コース/博士課程後期 3 年)  
 迷惑な接近行動による恐怖感の背景要因の検討  
 ー被害者が認知する元交際相手のパーソナリティと接近の意図に着目してー
2. 池田 和正 (教育設計評価研究コース/博士課程後期 3 年)  
 高校教員におけるシステム思考に関する予備的考察 ー課題研究への指導経験を中心にー
3. 伊藤 愛莉 (教育政策科学コース/博士課程後期 2 年)  
 国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の与党と政府部内の調整過程
4. 神山 真由 (教育政策科学コース/博士課程後期 1 年)  
 1970 年代の教員不足と臨時教員養成機関
5. 佐藤 和貴 (教育情報アセスメントコース/博士課程後期 1 年)  
 音の視覚化による子どもの音程感覚育成のための準備研究
6. 坂本 一真 (臨床心理学コース/博士課程後期 3 年)  
 いじりのリスク評定尺度の作成 ー信頼性・妥当性の検討ー
7. 長谷川 素子 (臨床心理学コース/博士課程後期 3 年)  
 代理意思決定後に終末期がん患者の家族が経験する罪悪感の変化プロセスに関する質的研究  
 (医療者の視点から)
8. 宇野 あかり (臨床心理学コース/博士課程後期 1 年)  
 緩和ケアスタッフの心理的適応と死のとらえ方と時間的展望の関連の解明
9. 鴨志田 冴子 (臨床心理学コース/博士課程後期 1 年)  
 うつ病ラベルが他者の捉える問題の原因帰属および行動へ与える影響
10. 小岩 広平 (教育心理学コース/博士課程後期 1 年)  
 「空気を読むこと」に失敗した人物への認知と行動パターンの関連  
 ーいじめへの介入方法の探索を目指してー
11. 櫻庭 真弓 (臨床心理学コース/博士課程後期 1 年)  
 不登校傾向低減のための解決志向短期療法のワークの開発
12. 菅井 美香 (教育心理学コース/博士課程前期 1 年)  
 ADHD 者の時間感覚に時間の表示方法が与える影響

【問い合わせ先】

東北大学大学院教育学研究科 先端教育研究実践センター

Tel/Fax: 022-795-6141/3737

Email: [edunet@sed.tohoku.ac.jp](mailto:edunet@sed.tohoku.ac.jp)